

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和8年 2月 19日	
放課後等デイサービス ぼらりす							
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	一般住宅での支援のため、身についたことが、そのまま生活に活かされると思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	・基準以上に職員を配置できている日も多く、個別対応等が必要な児童にも対応できる体制が整っている。 ・手厚い人員が確保されていると思う。	・送迎の時間によっては、職員の人数が足りないと思うことがある。 ・基本的に適切だが、部屋には居ても目を離している。配置基準は満たしているが実際に見ている人数に偏りがあることが時折ある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1	洗面台の使い方、お部屋のルール等を利用者である児童の手作りポスター化して分かりやすい。	バリアフリー化を今後どのように進めるか議論の余地あり。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	必要などところにゴミ箱や収納があり、分かりやすく整理整頓されている。	概ね出来ているが、「動ける空間」「座って過ごす空間」を明確に分けるとより良くなる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	・こども主導で部屋の使用が認められるかという点ではないが、状況に応じて職員主導では別室を利用することができる。 ・クールダウンのための個室がある。	状況によっては難しい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	3	・振り返りシートが導入されている。 ・日常的に職員のコミュニケーションが取られていて情報がオープンであり、PDCAが自然と図れている。	・非常勤職員まで行き届いていないことがある。 ・改善はみられるが、目標設定がないことがある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	定期的な面談の実施で、日々の連絡ノートや送迎時の声掛け等、細やかに行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	日常的に職員のコミュニケーションが取られていて情報がオープンであり、PDCAが自然と図れている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1	地域の担当者との意見交換がある。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	研修プログラムを年度初めに立て、担当者を配置している。内部研修は月1回以上開催している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	予め、月のプログラムを職員にも共有している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	・児童との個別面談を導入しており、集団は言えない悩みや関係性構築、ご本人の課題やご本人自身の想い等も聞き取る機会を設けている。面談時の内容等を計画書に反映する等の事業所独自の工夫が見られる。 ・児童、保護者、別々にヒアリングし、その結果を共有し、記録を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	日々、児童の様子を職員間で共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		地域とのつながりを作ることが課題。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	日々違う内容の活動を提供しており、よく考えられていると思う。	毎月変えてはいるが、曜日ごとに活動ジャンルが決まっているため、曜日固定で利用される方は、ほかのジャンルも必要かなと感じる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	日々、メール等を活用し、支援前に職員間で情報をしている。	・より綿密にする必要がある。 ・計画は共有しているが、うまく連携が取れていない場合がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	日々、メール等を活用し、支援前に職員間で情報をしている。	全職員を含めた話し合いができていない。一部のみの共有になっていることがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	1		地域との交流が少ないように感じる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1		一部担当者会議が全くない方がいらっしゃる。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2		学校との連携は送迎時にとれるが、他機関との連携は難しい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	2		・学校ごとに対応が異なっている。 ・福祉の仕組みを理解されておらず、取り合ってもらえない。話さえない場合も学校によってはあり、困っている。 ・時折、情報共有が難しく、誤った情報が共有されることがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	3	特性が書かれた資料等を頂くことがあり、相談員や保護者等を通して情報共有が行えている。	相談員等からの情報がないと把握することさえ難しい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	5		そもそも時間的に難しい面があり、積極的に働きかける動きは出ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	2	毎回1名以上は参加出来るよう調整している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	2		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	保護者とも、こどもとも面談を設けており良いと思う。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	8		配置基準を満たしつつ、イベントや研修会まで開催出来るほどの余裕がない。配置基準の緩和等があれば、もっといろいろな取り組みができるが、現状は難しい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	1		説明が長くなる場合。視覚で分かるようにホワイトボードに書いて見せるのも手だと思ふ。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	8		そこまで行える余裕がない。現状、積極的に行うのは難しい状況。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	1			